

宮若市外二町じん芥処理施設組合
ごみ処理施設整備基本計画策定に向けたサウンディング型市場調査
対話実施結果

1 概要

対話期間	8月19日(月)～8月22日(木)
場所	くらしクリーンセンター会議室
対話方法	直接対話(個別、非公開)
対話時間	1参加者当たり1時間
参加事業者数	3社(廃棄物処理事業者1社、プラントメーカー2社)

2 対話での主な提案

(1) ごみ処理方式のアイデア

- ・焼却処理(ストーカ方式)
- ・コンパクトなごみ処理施設

(2) 廃棄物処理施設を核とした多面的価値創出のアイデア

<エネルギーの地産地消>

- ・ごみの焼却熱を利用したボイラ+蒸気タービン方式による発電の可能性(ごみ質等)
- ・製品プラの材料リサイクルによるプラスチック製品としての地産地消

<環境学習機能>

- ・ごみの処理の仕組み、日本国内および世界の環境問題、地域の自然環境、災害・防災学習などを学べる環境学習拠点
- ・ごみの焼却熱を利用した温水供給(施設内利用)
- ・温水利用(場内の冷暖房、外部施設への給湯)

<コミュニティ活動拠点>

- ・温浴施設+休憩室
- ・リサイクル品の再生利用による地域コミュニティ拠点

<防災拠点>

- ・一次避難所機能、防災備蓄
- ・災害時の避難所機能を持たせた地域の防災拠点

3 今後の検討の進め方

本調査でいただいたご意見を参考に、処理方式等を検討します。